

公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター

創立35周年記念号

シルバー せたがや

2014.3 137号

合併号

目次

世田谷区シルバー人材センター 創立35周年記念号

◆目次・運営の指針	2
◆創立35周年を迎えて ご挨拶	
公益社団法人 世田谷シルバー人材センター会長 竹内 弘	3
公益社団法人 世田谷シルバー人材センター名誉会長・世田谷区長 保坂 展人	
世田谷区議会議長 山口 ひろひさ	4
公益社団法人 世田谷シルバー人材センター「会員憲章」	5
創立35周年記念「シルバーまつり」開催	6～7
◆いきいき会員生活	
世田谷区シルバー人材センターの組織	8
会員の体験・想い・お客様からのメッセージ	9～11
◆様々な就業形態	
ご家庭に伺って	12
街角で活躍	13
公共施設で	14
いろいろな教室の講師	15
様々な研修	16
同好会サークル活動	17
◆地域活動と交流	
地域活動連絡会議	18
地域のひととの交流・ボランティア	19

他地域のシルバー人材センターとの交流・ ボランティア「青年隊」	20
◆当センターの平成20年度からの実績資料編	
年度別・事業別実績表	21
当センターの5年間の歩み	22～23
受託件数・延就業日数・配分金の推移	24
年度別会員数・就業状況	25
年度別・年齢別会員構成	26
年度別・職群別配分金構成	27
近5年間の役員名簿	28
近5年間 事務局職員名簿	29
当センターの地図(本部・烏山支部・用賀ワークプラザ)・奥付	30

シルバーせたがや 137号

あったかサロン・平成26年度定時総会案内・ 東京マラソンボランティア	31
平成25年度の活動状況をかえりみて 未就業者意向調査報告・理事による発注者訪問報告	32～33
安全委員会からのお知らせ・安全標語入選発表表・ 就業開拓専門員報告	34
事務局からのお知らせ・職員担当移動・就業相談案内・ 同好会ガイド	35

公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター

運営の指針

1. 生きがい就業に徹し、生涯現役をつらぬく
2. 会員には一人でも多くの就業の場を確保する
3. 地域社会にシルバー文化を創造していく
4. シルバー人材センターの認知度を高め、会員が誇りを持って
仕事をする環境を整える
5. 地域社会との連携を深める
6. シルバー人材センターは、「超高齢社会に生きる元気高齢者の
生き方である」との運動を進める

創立35年を迎えて



公益社団法人
世田谷区シルバー人材センター

会長 竹内 弘

ごあいさつ

公益社団法人世田谷区シルバー人材センターは、平成25年創立35周年を迎えました

この節目にあたり、当センターの現状や、歴史について皆様に一覧していただくために記念誌を発行することとなりました。

かえりみますと、昭和53年から平成25年にいたる35年間は、さまざまな社会の変化がありましたが、当センターは一貫してシルバー人材センターの基本理念を尊重して努力と創意を重ねながら今日に至りました。

この間、先人たちのご苦勞はもとより、世田谷区並びに区民の皆様のおたたくいご指導やご協力によって、今や三千有余名の会員を擁する全国でも有数のシルバー人材センターに成長いたしました。改めて皆様のお力添えに心から感謝を申し上げます。

さて、当シルバー人材センターは、近年の大きな変化として、国の法人改革の一環として平成23年新しい公益社団法人として衣替えをいたしました。新定款では、従来の就業提供活動に加え「社会奉仕活動」の積極的実施や、理事の経営責任の重視等が運営の基本に加えられました。

これに伴いまして、「中期五カ年計画」や「就業改善計画」を見直すとともに、新たに「運営の指針」並びに「会員憲章」を策定して、関係者一同心をひとつにして目的に向かって邁進することいたしました。

今や、我が国の人口減少・少子高齢化は益々そのスピードを増し、特に今後は大都市圏の高齢化が著しく、メディアは「老いゆく巨大都市」とか「大都市の危機」と言って、その対策を求めています。

私たちシルバー人材センターは、こうした社会的背景のもとで35年間の歴史を生かし、地域の高齢者が孤立しないように、しかも高齢期を少しでも豊かに送れるように「居場所」を提供するとともに、元気高齢者の力を結集して働くことを通じ地域活性化に尽力してまいりたいと思います。

創立35周年記念誌の発行に当たり、御挨拶といたします。

祝 35周年

創立35年を迎えて



公益社団法人
世田谷区シルバー人材
センター名誉会長

世田谷区長
保坂 展人

世田谷区シルバー人材センターが創立35周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

昭和53年よりの長きにわたり、お互いに協力し、助け合いながら、広く仕事を分かち合い、みんなで一緒に働くという理念のもとに活動を続けてこられたことに、深く敬意を表します。

また、皆さまには、「シルバーまつり」を開催していただくなど地域とのつながりを大切に、地域コミュニティの活性化にご尽力をいただいていることに感謝申し上げます。

今後、高齢化社会がますます進む中、仕事を通じて高齢者が生きがいを感じることでできるシルバー人材センターの活動に、大いに期待をいたしております。

区も、皆さまと共に、高齢者をはじめとして誰もが住みなれた地域で安心して暮らし続けていけるよう取り組んでまいりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

世田谷区シルバー人材センターの今後のますますのご発展と、会員の皆さまのご健勝を祈念いたしまして、お祝いの挨拶とさせていただきます。



世田谷区議会議員長
山口 ひろひさ

世田谷区シルバー人材センターの設立35周年を祝し、心よりお慶び申し上げます。

貴センターにおかれましては、昭和53年の設立以来、高齢者がいつまでも元気に働き続けられる仕事を各種提供されてきており、就業促進の成果を着実に挙げてこられました。

会員数は、この10年間で500人も増え、現在では、約3,100人にもおよぶ大きな組織へ成長発展されました。これも歴代の会長をはじめ、関係者の皆様のご努力と、会員の皆様の仕事に対する熱意ある取り組みのたまものと深く敬意を表する次第であります。

世田谷区における65歳以上の人口は、約17万人で全体の約20%を占めており、ここ数年は、毎年増加しております。超高齢社会を迎えるに当たり、高齢者が地域の中で安心して健やかに充実した生活を送っていただくための取り組みは、益々重要になってくると認識しております。

区議会といたしましても、高齢者の社会参加の促進と生きがいの確保をめざして、さらなる努力を続けて参る所存でございます。

結びに、貴センターの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝 35周年

会員憲章

平成24年6月14日 総会承認

私たちは シルバー人材センターの基本理念を尊重し
培ってきた知識や経験を社会に役立て 世田谷区の福
祉政策と連動して 高齢社会の中で豊かで活力ある
地域社会を目指して憲章を定めます。

私たちは

- 一、 シルバー人材センターを通じ、働く高齢者の文化
を創造していきます
- 一、 生きがい 生涯現役を目指し、互いに力を合わせ
活動します
- 一、 常に 健康と安全に配慮し、区民へのサービス向
上に努めます
- 一、 就業機会の開拓・確保に努め、責任をもって働
きます
- 一、 地域社会に奉仕の心で、貢献することに努めます

公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター

創立35周年記念



▲花田有子会員の司会でオープニングセレモニー

平成25年11月16日、創立35周年記念「シルバーまつり」が宮坂区民センター全館使用で開催されました。区をはじめとした関係各所、交流のある他シルバー人材センター様、地域の皆様、会員の皆様のご協力を得て、来場者720名の盛況ぶりでした。



▲竹村夫妻・お弟子さんによる尺八・箏の演奏



▲竹内会長の挨拶



▲準備OK! さあ始めます



▲パネルからも活動内容がわかります

●地域の皆様のご協力で

尺八・箏の演奏でオープニングセレモニー開始。竹内会長、区や他市のSC代表者、養父市長等のご来賓の祝辞をいただき閉会。続いて、駒澤、成城大学学生さんによる美しいハーモニーが会場を包み込みました。午後には、鷗友学園女子中学高等学校中学生・高校生によるコーラスや創作ダンスが披露され、躍動する若さに魅了されました。

別会場では、大江泰子健康体操講師の指導による体力測定が終日行われ、大勢が参加しました。これ等は全て、地元や就業先等の繋がりで見事実現しました。



▲駒澤大学コーラス



▲体力測定

●会員の特技で実現したコーナー

「包丁研ぎ」や「藁で作るデンデン虫」「コマ・お手玉等の遊び指導」は、日頃から鍛錬、努力してきた会員さんの技をご披露したものです。パソコン教室講師会員によるパソコン相談コーナーも、来場者が多数でした。会員さんの力作が展示された中に、会員講師による陶芸・編物・習字等のカルチャー教室の生徒さんの作品も多数展示されました。

家事援助会員による喫茶コーナーは、手作りケーキセットが大人気。社交ダンス同好会開催のダンスパーティーは、ベテラン会員のリードで大勢の人が踊りに参加して楽しみました。



▲鷗友学園女子中学・高校生のダンス



▲コマ回し・お手玉指導



▲パソコン相談コーナー

▼藁で作るデンデン虫



▲工芸品・絵画・書など会員の力作が勢揃い



▲包丁研ぎ



「シルバーまつり」開催

▼早朝から即売準備に大わらわ



▲植物研究同好会

●交流やボランティア活動の成果で

新潟県柏崎市 SC、静岡県牧の原市 SC、兵庫県養父市 SC の皆様が、特産の有機野菜、お茶、無農薬野菜等を持参して即売会や試飲試食もあり、JA 東京中央野菜類も加わって買物客で大賑わい。養父 SC の餅つきには、餅を買う行列ができていました。

ボランティア活動等で腕に自信がある会員による焼きそば、綿菓子、甘酒の販売、野菜・肉たっぷりの豚汁も大人気。植物研究同好会会員が育てた草花や球根類の即売も、手ごろな価格で完売しました。



綿菓子にちびこたちも大喜び



●共に楽しんだ演芸会

地元で活躍する「清志凡」師匠による落語は大受けでした。地域の方や会員によるコーラス、舞踊、謡曲、草笛、ハモニカ演奏、手品等が披露され、会場が一体となって楽しみました。



▲「清志凡」師匠の落語

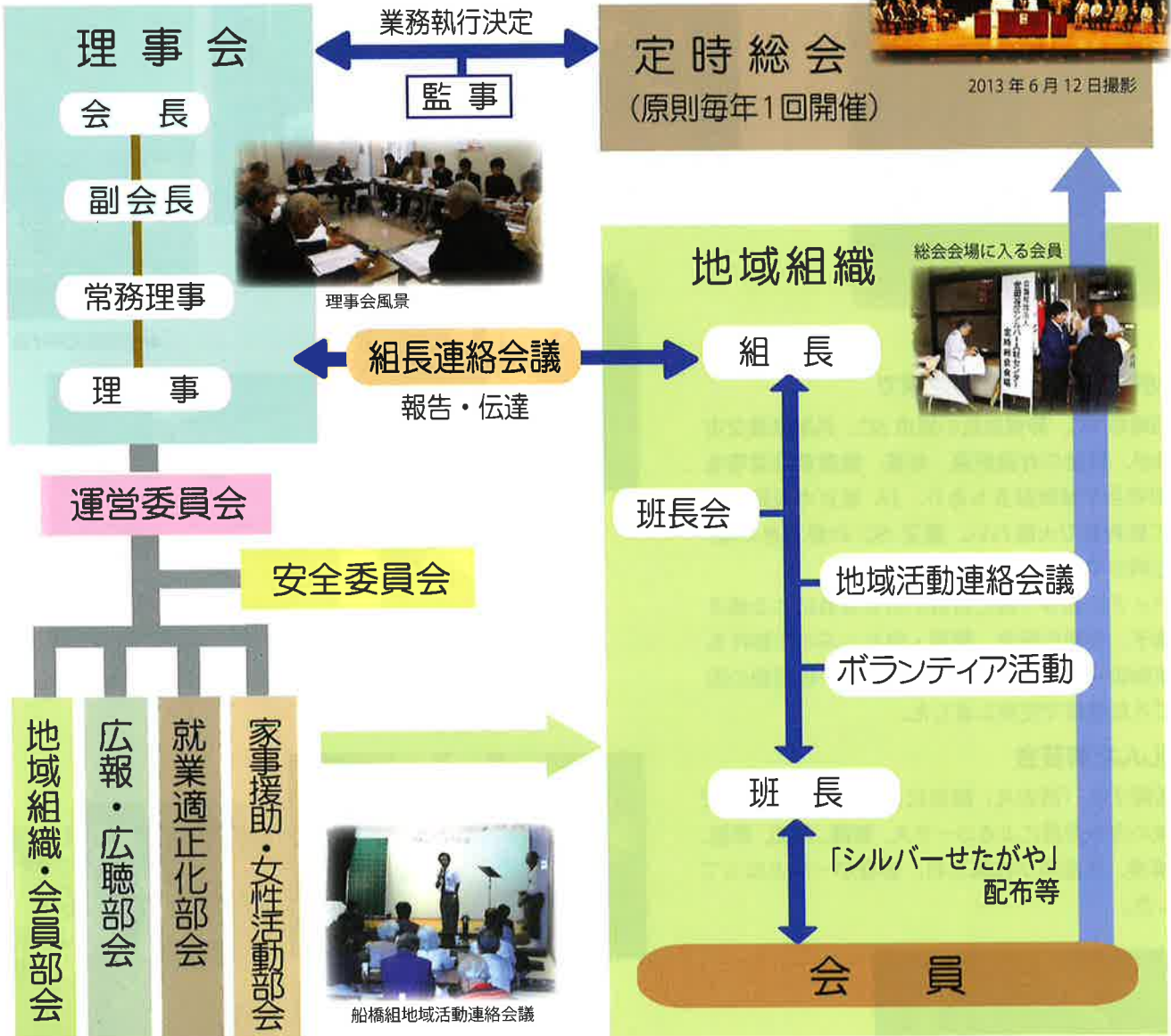


▼喫茶コーナー



いきいき会員生活

世田谷区シルバー人材センターは こんな組織です



当センターの組織の仕組み

当センターは、定時総会において前年度の事業報告・決算を報告し、当年度の予算・事業計画等の1年間の業務執行の枠組を決定して運営されています。

総会で決定した目標の達成に向け、理事会において具体的な事業執行を決定し、進めてきています。

理事会の下にある部会・委員会で挙がってきた課題は「運営委員会」で検討し、理事会で決定・承認します。

地域や組長・班長・会員の活動にかかわる問題は「地域組織・会員部会」、広報紙の発行・ホームページ等対外的なPRにかかわることは「広報・広聴部会」、

就業にかかわる諸問題は「就業適正化部会」、家事援助・女性会員にかかわる問題は「家事援助・女性活動部会」が扱って検討を重ねます。

各部会・委員会は、理事、就業現場を経験した会員・組長・事務局職員等で構成されており、当センターの問題点や改善案等を取り上げ、解決策を検討します。

理事会の審議・報告事項は、3ヶ月ごとに開催される組長連絡会で組長へ伝えられ、その後、班長会や会員へ広報紙「シルバーせたがや」配布等で伝達されます。

会員の体験・想い

35周年に思う

事務局長 青山 善樹



このたび当センターは35周年を迎えましたが、私はこの事業誕生以来、センターと共に歩んできた職員の一人名です。

設立は都内で23番目、会員数1,893名と都内最大を誇る団体でした。しかし、職員数は事務局長以下5名で、日中は会員さんと一緒に発注者さんのところへ行き、1日数件の契約を取り、夜間に契約書や会計等の事務処理をする毎日でした。

当時は会員さんへの連絡手段は電話しかなく、就業していただける会員さんを1名見つけるのに、20名にも電話をしなければならぬこともありました。Fax付電話、携帯電話、メール連絡等いろいろある現在とは隔世の感があります。

配分金も現金支払いから振込による支払いに代わり、早く安全にお渡しできるようになりました。

事務局の職員数は、昭和57年に8名、平成2年に10名、

平成5年に11名、平成7年には13名と順次増員されてきましたが、その後増員はありません。しかし、事業規模は平成24年度には会員数が43%増、契約額・受注件数・就業実人数はそれぞれ8倍となっています。そんな状況ですが、13名の職員に嘱託職員や臨時職員数名を加えて頑張っております。

仕事受注の折は、発注者さんと話し合いで契約金額を決定します。就業希望の会員さんには配分金額を提示し、その条件で就業の有無を確認します。当センターは営利目的ではありませんから、センター全体の運営費に充てるため、事務費として発注者さんから諸経費(約5~10%)をいただいています。

会員さんは仕事を、職員は契約や仕事の条件整備、料金の回収、トラブル処理等を誠意をもって行うことで、質の良い仕事をするためのパートナーです。どちらも、十分役割を果たさないと、発注者さんからよい評価は得られません。

これらを十分意識して、ますますセンターの評価を高めてゆきたいものです。

センターで学んだこと

前橋 允



シルバー人材センターには平成13年に入会しましたが、当初は当センターに関しては全く無知でしたので戸惑うことの連続でした。

初めての就業はシルバーパスの発行業務で、久しぶりにお客様との直接の出会いを体験し、感動と同時に多くのことを考えさせられました。

現役時代は地元との関係は全くなく、関心を抱くこともなく過ごして来ましたが、シルバーの仕事を経験することで、具体的な世田谷区の面積や人口、住民の年齢、また一人ひとりの考え等々が、少しずつ分かるようになり、毎日が新鮮な思いでした。

また同時に、働く仲間同士の協調や協力、人間関係に於いても、なるほどと思うことが少なくありませんでした。働く環境が変わり条件は違っても、結局は自分自身の問題に帰結するとの思いに至りました。

健康で毎日を楽しみ、且つささやかでも他人様のお役に立ち、知己も増える、全ては自分の心がけだということを実感致しました。

明日からも皆様と一緒に頑張りたいと思います。

シルバーカラーに輝いて

花田 有子



現役退職後は趣味のダンスを楽しみ始めていたものの、何か物足りず「余った時間もある、パートでも始めようか。でも週5日勤務が条件となると趣味の時間も減ってしまう。そうだ。港区に住む叔母がシルバー人材センターに登録して、楽しそうにしていたなあ」というわけで、当センターに登録しました。2011年の夏のことで。

家事援助では家族のように迎えられ、家磨きにいつそう拍車がかかり、施設管理では中高生と接して若やいだ気分になりました。また就業仲間のご縁で「シルバーまつり式典」の司会をやらせていただき、楽しく有意義な日々を過ごしています。

今後はもう少し横の繋がり、仲間とのコミュニケーションがとれたなら、私の世界はもっと広がって行くのではと思います。

これまでの経験や知識を少しでも生かし、働いていけることは大変嬉しいことです。

ゴールド時代は過ぎて、シルバーカラーになっても、輝いた日々が送れるように健康に注意し、新たなことに挑戦したいと思っています。

五つの喜び

大野 力之助



この4月で 74 歳。老いは避けられませんが“まあまあ良き一日だった”と感謝の日々です。私を支えてくれるのは、以下の五つの喜びです。

植木班で 10 年、他家の庭の手入れをしています。樹木の剪定とは青空に絵を描くことです。描く喜びとともに「ありがとう」の一言で疲れは吹き飛びます。また町田市の農園で、桃や葡萄などの果物を育てていますが、美しく美味な果実を採らせる喜び、友人のおいしかったという一言で老いを忘れます。

四季を彩る自然の美しさを、レンズを通して撮る喜びもまた格別で、日本に生まれて本当によかったと思う瞬間です。また何物にも替え難いのが6歳の孫娘が健やかに育つ喜びで、フルタイムで働く母親のバックアップが私の役割でもあり、生きていて良かったと実感致します。

最後は会員仲間や古い友人達と「頑張ります」とエールを交わす集う喜びで、毎日の勇気の源です。

第二の人生の楽しみ

清水 巖



幼少時より物づくりと運動が大好きでしたので、リタイアと同時に、和紙の手漉き会、木彫会、象牙彫刻会に入会しました。65 歳からは当センターに入会し、18 年間毎日楽しく過ごして来ました。

その間4か所の職場を経験しましたが、それぞれの場でお会いの方々の色合いが違うものです。とても立派な方もおれば、仕事をしない方もいました。後者のような方がグループ内に一人でもいると嫌なものです。残念ながら良い解決策が浮かばないままに悩んでいるだけでした。

多種多様なグループに入会していると、次々と仲間が増えて現役時代では考えられなかった楽しさが湧いてくるものです。

今は東京都市大学の駐輪所管理に就業していますが、この楽しいシルバー人材センターで、百歳までも心身ともに健康で、仲間と共に世のために貢献させて頂きたいと思っております。

初めてのボランティア体験

相沢 定吉



数年前、本職だった塗装の職種があることを知って会員になりました。ほどほどに忙しく楽しく就業を続け、地域の仲間もたくさん増えました。

昨年 10 月 20 日、地元の上祖師谷自治会主催の「祖師谷公園いこいのコンサート」のボランティアに参加しました。大野えり、鈴木直樹のカルテットによるジャズフェスティバルで、開催場所の公園の親水テラスの予定が大雨のために都立総合工科高等学校に変更となり、要請人数も 10 人から4人になりました。主な役割は出演者の車の誘導や、当日同時開催のバスケットの試合観戦に来られたお客様と、コンサート組のお客様の仕分けガイドでした。

コンサートで演奏された「リング追分」や「鈴懸の径」「キャラバン」等々は仕事を忘れるほど素晴らしく、大変楽しい経験となりました。

ぜひまた、ボランティア活動をしたいと思えます。



鈴木直樹と上北沢・上祖師谷組のメンバーの記念ショット

アクティブなシルバー生活

阿部 美絵



久しぶりに会った友人に「アクティブに生活を楽しんでいるみたいね」と。「まあネ、シルバーのお陰かな」と私。

定年退職後、今後の人生をどのように生きようかと思いついて悩んでいたときに出会ったのが、シルバー人材センターでした。

働くのはもう沢山!!とっていたけれど、「高齢者が働くことは健康を維持し、社会参加・社会貢献に繋がる」という理念や、「自主独立の立場で、職種や働き方が選べる」という趣旨に共感し入会、未知の世界を体験したくて植木剪定の仕事を希望しました。

当時、植木班には女性会員はゼロ、しかも私は未経験者だから拒否されるかと覚悟していましたが、希望が叶えられ、女性会員第一号となりました。

慣れない仕事の辛さや挫けそうな心は、仕事を終えたときの爽快な気分、依頼者の方の笑顔、そして先輩の励ましの言葉等々が支えてくれました。

配分金は、学習やボランティア活動等、私のアクティブな生活を大いに支えてくれています。

友人は別れ際「私もシルバー人材センターに入ろうかな」と呟いて雑踏の中に消えて行きました。

会員の体験・想い

価値を再確認

菅野 和昌



現役時代の後期に退職後を予想し、某ボランティア協会の説明会に出てみました。そこで「どのような資格や特技を持っているか」と問われ、「何もないが体力には自信がある」と答えましたが、「資格も特技もない人にはボランティア活動などできません」と言われ、自分の認識の甘さを反省させられました。

その後、東京農大で有意義に過ごしている人の話を聞き、平成 12 年に 63 歳で定年退職しましたので、4月に農大成人学校の 26 期生となりました。

5年間、造園科に籍を置きましたが、当センターを知った平成 14 年6月に当センターに入会し、勉学を続けながら植木グループでの実務を習得させていただき、今に至っています。

退職後の第二の人生を当てもなく過ごしている人を見ますと、とても残念でたまりません。体力・能力に応じた就業ができ、幾ばくかの収入を得ることができる当センターの存在は、人生をどれほど健康的で充実したものにしてくれることでしょう。会員となって過ごしてきた今の私の幸せに、大変感謝しています。

お客様からのメッセージ

■3、4年放置して荒れていた庭を、シルバーさんが風通しの良いすっきりした庭に変身させてくれました。誠意あるお仕事ぶりに心から感謝しています。リタイア後に、健康で他人の役に立っているって素晴らしいですね。夫が入院中なので、特にそう思います。(藤本様)

■たいした庭ではありませんが、毎年、秋にはシルバーさんのお世話になっています。1本1本、丁寧に刈り込んでいただき、近所の方や親戚に庭を褒められています。これからもよろしく。(武田様)

■除草と年末の大掃除をお願いしたら良くやっていただいたので、またお願いしようと思っています。シルバー会員さんは、年齢を感じさせない動きですね。(中村様)

■会員さんは人柄も良い方ばかりで、お風呂場の掃除等、隅々まできれいにしてくださり、2週間ぐらいは掃除なくていいくらいです。本当に感謝しています。(神保様)

■家で気になることがあると、シルバーさんをお願いしています。庭の手入れ、除草、部屋の掃除等。どなたも良くやってくださりありがたく、インターネットでシルバー人材センターを知って良かったです。(田代様)

ロマンスカー
友と語らん
熱海行
絆となりて
すぎにし若衆
八重桜
馬事公苑の
爛漫と咲く
池にうつして
高宗正記
雨が降る

様々な就業形態

ご家庭に伺って日常生活を 援助いたします

家事援助グループ：
室内や窓ガラスの清掃・
洗濯・留守番・買物・子
供の見守り等、様々な家
事のお手伝いをします。



▲大掃除・室内清掃



▲油污れの換気扇もきれいに



▲エアコンの清掃



襖・障子・網戸の貼り替え



▼包丁研ぎ：
日時・場所を設定し
て包丁研ぎを開業



▼植木の剪定



プランタや庭の草
花栽培を請け負う



植木グループ：

親方と複数の会員が庭木の剪定等を請け
負います。施設の草花の手入れ等も行っ
ています。



家具転倒防止器具設置：
地震の揺れに備えて



▲庭の除草

◀ 植木や鉢植え等の水やり

自転車等駐車場管理

自転車・バイクなどを有料で預かるほか、レンタサイクルポート(右端写真)では電動アシスト車などもレンタルしている。



管理窓口▶



▼レンタサイクルポート



様々な就業形態

街角で活躍



▲マンション清掃・管理等
早朝就業が多い



▲ポスター貼り・剥し回収

◀若林公園の早朝清掃



▲放置自転車等整理・誘導



シルバーパス更新受付▶

毎年9月に区内各所で開催。シルバーパス更新者の必要書類等のチェックや確認をし、新しいパスを発行する作業

▼写真の仕分け作業



内職作業

センター作業場で、他に配布物の発送袋詰め・ラベル貼り・チラシ封入などを行う。



毛筆筆耕▶

宛名書き・賞状・看板文字などを受注。実用書技のルールどおりに書く。

様々な就業形態

公共施設で



蘆花恒春園の母屋

▼園内の蘆花記念館の清掃、児童館の清掃・管理を行っている。



なかんだの坂市民緑地の門の開閉
朝8時30分～9時30分、夕方5時前後に3箇所
の門の鍵の開閉を行う。



岡本公園民家園の旧長崎家の母屋



園内には、江戸時代後期の古民家や土蔵等が再建され、囲炉裏や生活道具に触れられる。多くのボランティアの方に混じて、清掃(上)・修理(中央)・お茶出し(右上)・ガイド(右下)などを行っている。



◀ 地区会館・区民集会場等

週に数回、夕方17:10～22:10の間、夜間受付管理を行う。1～3人ぐらいのローテーションが多い。

◀ 猪俣庭園

清掃管理を行っている。

様々な就業形態

いろいろな教室の講師として



◆書道

楷書・行書・草書等を指導します。
初心者・中級の2コースがあります。



◆きものを楽しむ
着物に関する全ての範囲
(染・織・歴史から着付け
実技)を講習します。



◆楽しい編み物

帽子・ベストなど、棒編みでの編み方を教えます。



◆茶道教室

茶道裏千家の立礼作法の課題を、実習を通して指導します。



◆陶芸教室

入門から初級・中級・フリー焼成まで、各クラスに分かれて
焼き物の楽しさを教えます。



◆パソコン教室

パソコン入門からエクセル・
ワード・写真編集・インター
ネットなど、いろいろなコースを講習します。



◆学習教室
小学生は算数・国語、中学
生は数学又は英語を世田谷
区立学校の教材に準じて指導
します。



このほか、英語・フランス語・イタリア語などの語学コース
や世田谷の歴史を学ぶコースなど、多彩なカルチャー教室の
講師として活躍しています。

様々な研修形態

就業のため・ 会員としての研修

職種によっては、就業前に研修が行われます。専門的な技術職では、定期的に技術研修があります。また、理事・組長・班長等の役職ごとに研修があり、一般会員も2年次、5年次と経験を加味した研修が行われ、会員は進歩を続けています。



▼家事援助における窓ガラス清掃研修



▲植木グループのリーダークラス研修会：
真剣に松の縁摘みの説明に聞きいる。



自
転
車
等
駐
車
場
の
接
客
マ
ナー
研
修



▲シルバーパス更新研修：
チェックの用紙の見分け方の解説、互いにお客・チェック係・発券係等になって、実作業のシミュレーションを行う。



◀組長研修会

役員研修会▶



▼班長研修会

▼2年次会員研修会

▼5年次会員研修会



同好会サークル活動



同好の趣味の 仲間と楽しもう



カラオケ同好会 (烏山)

「いきいきせたがや文化祭」に毎年出場



シルバーボーリング同好会
褒賞付大会を毎月1回開催



社交ダンス同好会

「シルバーまつり」のパーティーには、大勢の方が参加



植物研究同好会

毎月1回、土に触って農作業と、用賀ワークプラザで採種・草花の手入れ法等を研究。



囲碁同好会

年会費千円。5段の有段者から入門初心者まで自由に参加



ゴルフ同好会 (けやき会)

年4回コンペ開催

地域活動と交流

地域活動連絡会議

当センターは、区内を15の「組」に分けた下に117班に分けられた会員さんで構成され、地域活動は「組」単位で行われます。1年に1回、地域活動連絡会議が開催され、センターの現状や活動方針等が伝えられ、地域の仲間との交流や、役立つ講演等を聴く機会にもなります。

公益社団法人に移行した現在、元気で意欲的な当センターの会員は、高齢化の進む現状を地域との交流を深めながら、ボランティア活動等で支え、共に助け合っていこうという活動を行っています。各組の取組を紹介しましょう。

組ごとに会費も企画内容もさまざま



▲梅ヶ丘・北沢組地域活動連絡会議：

会議前に出席者全員で道路の清掃ボランティアを開始。会議後は消防庁のご協力
で、心臓が止まった人を救えるAEDの使い方の実技講習会が行われ、好評でした。



船橋組地域活動連絡会議：

竹内会長の講話の後は懇親会。お酒とおつまみ、ビンゴゲームで盛り上がりました。



▲奥沢・等々力組地域活動連絡会議：

会議後、消費者センターの講師による「健康で長生きするための食生活」の講演を開催。クイズ形式で楽しみました。



▲上町組：毎年、有志によるお花見会を開催。

地域活動と交流

地域の人との交流・ボランティア活動



▲せたがやふるさと区民まつりに参加
毎年、好評の竹製団扇や当センターのPRチラシを配布。区民のご要望や質問に直接お応えしています。

展示品搬入で、開催前日はおおわらわ▶



いきいきせたがや文化祭の実行委員として、例年、司会・演芸の裏方・会場監視・会員の皆様の作品展示等で活動しています。



祖師谷・成城組は祖師谷商店街と地域自治会が開催するイベントにボランティアで参加。



▲上町組は世田谷1丁目ボロ市通り清掃奉仕活動を継続。



▲三軒茶屋組の田村組長、国分班長、下馬・上馬組の永田組長等が世田谷区ボランティア協会に協力して活動中。

地域活動と交流

他地域の シルバー人材センターとの交流



柏崎市シルバー人材センターと当センターと一緒に芋を収穫

▲柏崎市シルバー人材センターの農業体験ツアーに参加：平成24年春秋、平成25年秋と3回のツアーに参加し、芋の植え付け、収穫を体験。芋掘りに熱中した後は、両会員同士の楽しい交流会があり、互いが身近になりました。「シルバーまつり」にも参加いただき、産直の野菜・古代米・有機栽培米等が大人気でした。



「シルバーまつり」に出店



兵庫県養父市シルバー人材センターは、会員が生産する無農薬野菜を地域活性化の主力にするべく、活動しています。



牧の原市シルバー人材センター会員の茶畑に平成22年、茶葉の収穫ボランティアに行った縁で交流が続いています。

ボランティアグループ「青年隊」によるボランティア活動

▼多摩川河川敷清掃ボランティア



「青年隊」は、恒例になっているたまがわ花火大会後の多摩川河川敷清掃や、東京マラソンに自主的に参加するボランティア活動の中心になってきました。

平成21年から地域間交流事業として、山形県天童市シルバー人材センターとの協働作業でサクランボやリンゴの収穫、門松作り等の交流を続けてきました。最近では、各組からボランティアとしての参加が増えてきています。ぜひ、多くの会員さんの参加をお待ちしています。



▼東京マラソン 容器の回収指導



年度別・事業別実績表

平成25年3月31日現在

年度	年度末 会員数	実人員 (就業率)	受託 事業別	受託事業 件数	就業延日 人日	契約金額（収入） 単位：千円				構成比 (%)
						配分金	材料費	事務費	合計	
平20	2,566	1,871 72.9%	公 共	1,673	95,521	423,756	151,255	39,314	614,326	51.5
			企 業	5,389	100,851	395,271	2,764	29,469	427,504	35.8
			家 庭	8,988	27,691	122,691	1,504	10,261	134,456	11.3
			独 自	142	2,945	11,748	4,818	1,170	17,736	1.5
			合 計	16,192	227,008	953,467	160,341	80,213	1,194,022	100.0
平21	2,738	1,996 72.9%	公 共	2,076	98,477	440,820	159,881	44,081	644,783	53.0
			企 業	5,466	98,498	379,370	2,000	30,322	411,692	33.9
			家 庭	9,446	28,938	126,997	1,462	11,221	139,681	11.5
			独 自	144	3,210	14,029	4,425	1,499	19,953	1.6
			合 計	17,132	229,123	961,216	167,769	87,124	1,216,109	100.0
平22	2,874	2,208 76.8%	公 共	1,743	100,682	446,655	149,180	44,664	640,500	51.4
			企 業	5,829	103,892	395,192	2,129	33,947	431,269	34.6
			家 庭	10,855	33,597	138,183	2,265	12,445	152,893	12.3
			独 自	148	3,267	15,228	4,351	2,189	21,768	1.7
			合 計	18,575	241,438	995,258	157,926	93,246	1,246,430	100.0
平23	3,000	2,388 79.6%	公 共	2,033	104,193	459,771	151,960	46,260	657,990	51.4
			企 業	6,103	106,431	393,585	2,064	34,547	430,196	33.6
			家 庭	11,770	37,879	153,058	2,046	13,567	168,670	13.2
			独 自	129	3,395	16,522	4,468	2,640	23,630	1.8
			合 計	20,035	251,898	1,022,936	160,537	97,014	1,280,487	100.0
平24	3,036	2,415 79.5%	公 共	1,944	102,871	458,623	152,927	46,920	658,471	51.8
			企 業	6,345	106,105	379,895	1,685	34,078	415,658	32.7
			家 庭	12,539	39,973	157,744	1,981	12,033	171,758	13.5
			独 自	130	3,478	16,657	3,585	4,272	24,514	1.9
			合 計	20,958	252,427	1,012,919	160,178	97,303	1,270,400	100.0

当センターの平成20年～24年までの歩み

年	年	月	当センターの主な活動	月	国内・海外の出来事
平成 20 年度	20	4	青山善樹次長が事務局長代理に就任 発注者様からの支払いがコンビニでも可能となった 第56回定期総会開催(世田谷区民会館ホール)	4	月後期高齢者医療制度スタート、天引きに苦情殺到
		6	創立30周年記念に植木グループが豪徳寺境内に高野槇を植樹奉納 役員研修会(三茶しやれななど)	5	月中国・四川省で大地震。死者・不明8万人超 非正規雇用に過去最高。「蟹工船」本ブームに
		7	山形県天童市SCと交流推進事業で、サクランボ収穫ボランティア(青年隊) 組長研修・懇親会(世田谷区民会館地下げやき)	8	中国で初の夏季オリンピック開催
		8	第31回せたがやふるさと区民まつりに参加 たまがわ花火大会後の多摩川の河川敷清掃ボランティアに参加 会員の就業意向調査・結果発表	11	オバマ氏が第44代米大統領に
		10	第30回いきいきせたがや文化祭に参加 班長研修会開催:地域の声をセンターに届ける方策 理事による発注者訪問実施(119件)	12	南部陽一郎、小林誠、益川敏英(物理)、下村脩(化学)氏と4人がノーベル賞を受賞
		12	エコプロダクツ2008年東京ビックサイト東展示場見学会(バス)	3	WBCで日本が連覇。イチロー、松井秀もメジャーで活躍 地方の高速道路が土日祝日、千円で乗り放題
平成 21 年度	21	3	東京マラソン大会のボランティアに参加 第57回定期総会開催(世田谷区民会館ホール) 創立30周年記念式典(世田谷区民会館ホール)和太鼓演奏・駒澤大学高等学校吹奏楽部演奏会	4	事務局長に青山善樹氏が就任
		4	第58回定期総会開催 常務理事に梅村恒司氏が就任 7人の理事が交代	5	衆院選で民主党が大勝。鳩山由紀夫が93代首相に 裁判員裁判がスタート
		6	役員研修会(箱根):次期5か年計画策定のために、他 天童市SC田舎暮らし体験ツアー:サクランボ収穫、植木剪定	8	天童・皇后両陛下が江東区シルバー人材センターを視察
		7	組長研修会開催(世田谷区民会館地下げやき)	9	「年越し派遣村」(東京・日比谷公園)厚労省が講堂を開放。失業率最悪と雇用不安 オバマ大統領「核なき世界」でノーベル平和賞
		8	第32回せたがやふるさと区民まつりに参加(8月1～2日) 会員就業意向調査を実施 多摩川河川敷清掃ボランティアに参加	12	「年越し派遣村」(東京・日比谷公園)厚労省が講堂を開放。失業率最悪と雇用不安 オバマ大統領「核なき世界」でノーベル平和賞
		9	当センターのPRポスターの掲示キャンペーン開始		
		10	天童市SCと、リンゴの葉摘みボランティア(青年隊) 全国経験交流大会開催(全国シルバー人材センター事業協会主催)		
		10	第31回いきいきせたがや文化祭に参加 班長研修会開催(三茶しやれななど・烏山区民会館) 理事による発注者訪問実施(公共・公社45、民間54件) 一般会員研修会開催(就業時マナーの向上)		
		12	天童市SCの技術研修(門松製作)ボランティアに参加		
		2	東京マラソンにボランティアで参加 当センターへ金沢SCの役員14名が研修訪問		
平成 22 年度	22	3	ボーリング同好会創立 天童SC植木剪定担当者が交流研修で当センターへ来訪 当センター運営のコミュニティサイクル3箇所に電動アシスト自転車200台が納入された 桜新町レンタサイクルポートに電動アシスト自転車、充電用太陽光発電システムが導入 第59回定期総会開催:公益社団法人移行審議		
		4	事務局に新職員4名(職員退職に伴う補充)	4	中国の国内総生産(GDP)世界2位の経済大国に
		5	静岡県牧之原市との交流事業(新茶手摘み)実施 第60回定期総会開催:公益社団法人移行、定款変更等	6	小惑星イトカワから「はやぶさ」が7年ぶりに帰還
		6	役員研修会開催(宮坂区民センター本部)		
		7	組長研修会開催(世田谷区民会館レストランげやき)		
		7	天童市SCと交流事業(サクランボ収穫ボランティア) 第33回せたがやふるさと区民まつりに参加		
		8	多摩川河川敷清掃ボランティア参加	8	チリ鉱山落盤事故。69日ぶり全作業員33人が救助される
		10	天童市SCと交流事業(ラ・フランス収穫ボランティア) 平成22年度「全国経験交流会」開催(中野サンブラザ) 第32回いきいきせたがや文化祭に参加		

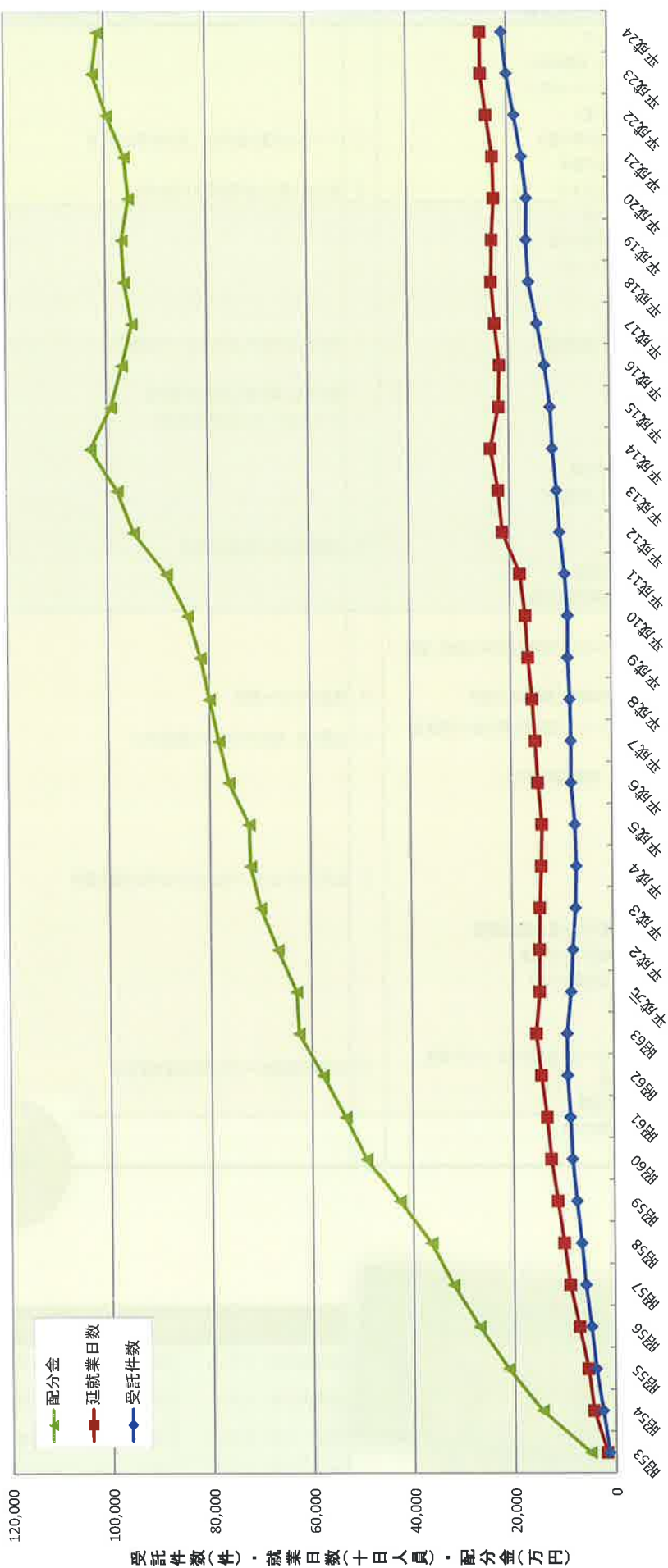
年	年	月	当センターの主な活動	月	国内・海外の出来事			
平成22年度	11	11	班長研修会開催：地域班の役割・活動テーマ 理事による発注者訪問実施(公共・公社38、民間46件)	12	ノーベル化学賞を根岸栄一、鈴木章両氏が受賞			
		11	入会5年次会員研修会開催：就業におけるマナーの向上 会員増に伴うワークシェアリング推進運動が進む 世田谷ボランティアセンター主催ポスター貼り等に協力					
		3	東京マラソンのボランティアに参加：容器回収指導 第61回定期総会開催：公益社団法人としてスタート			3	東日本大震災と東電福島第1原発事故	
平成23年度	23	4	公益社団法人移行に伴い理事数が12名に減 あったかサポートサービス開始決定、会員募集始まる	7	サッカー女子W杯、なでしこジャパンが世界一に 電力不足。東京電力が初の計画停電 タイで大洪水、日本企業が操業停止			
		5	平成23年度定時総会開催(世田谷区民ホール) 常務理事に溝口 猛氏が就任					
		6	役員研修会開催(箱根)					
		7	組長研修会(新体制移行で、地域組織連絡会議新設)					
		8	多摩川河川敷清掃ボランティアに参加 第34回せたがやふると区民まつりに参加					
		10	第33回いきいきせたがや文化祭に参加 就業開拓専門員3人が総数172件を訪問 班長研修会開催：地域におけるボランティア活動 理事による発注者訪問実施(公共・公社33、民間33件)					
		11	入会5年次会員研修会開催 未就業会員の意向調査を実施			12	北朝鮮の金正日総書記が急死	
24	2	東京マラソンボランティアに参加・容器回収指導 韓国蔚山広域市の高齢者雇用センター長等が視察来訪						
平成24年度	24	4	当センターの「会員憲章」が策定された 等々カワークプラザの機能が移転。用賀ワークプラザ開設(植木申込受付、換装替え作業、パソコン・カルチャー教室等)	8	東京スカイツリー開業 金環日食、国内で25年ぶりに観測された ロンドンオリンピック・パラリンピックでメダル多数を獲得 山中伸弥教授がノーベル医学生理学賞受賞			
		5	新潟県柏崎市SCの農業体験ツアー：種芋の植付と両会員の交流会					
		6	平成24年度定時総会開催(世田谷区民ホール)・交通安全講習会も同時実施、安全ヘルメットを配布 役員研修会開催(宮坂本部)：「就業拡大・地域組織活性化」					
		7	入会2年次会員研修会を初めて開催 入会5年次会員研修会開催					
		8	第35回せたがやふると区民祭に参加 多摩川河川敷清掃ボランティア参加 班長研修会開催：「地域との連携」					
		10	柏崎市SCの農業体験ツアー-里芋収穫と両SCの会員交流会を実施					
		11	第34回 いきいきせたがや文化祭参加：舞踊グループ出演 入会5年次会員研修会開催：「困った仲間と就業ルール」 「仕事別グループ交流会」を初めて開催 未就業者の意向調査を実施					
		12	地域組織(組・班)の再編成準備。組数が29→15、班数が196→117へ変更。 平均的な組人数200名、班は約35名となる					
		25	2			東京マラソンボランティアに参加・容器回収指導		
		25	6			常務理事に志村千昭氏が就任。4人の理事が交代 「シルバーまつり」開催が11月16日に決定		



世田谷区所管課の歴史	
昭和53年 7月～	福祉部 老人福祉課
昭和62年 4月～	高齢化対策室 (所管課不明)
平成 4年 4月～	高齢対策室 高齢者計画課
平成 6年 4月～	高齢対策部 高齢者計画課
平成10年 4月～	保健福祉部 保健福祉活動推進課
平成15年 4月～	産業振興部 工業・雇用促進課
平成18年 4月～	産業政策部 工業・雇用促進課

受託件数・延就業日数・配分金の推移

平成25年3月31日 現在



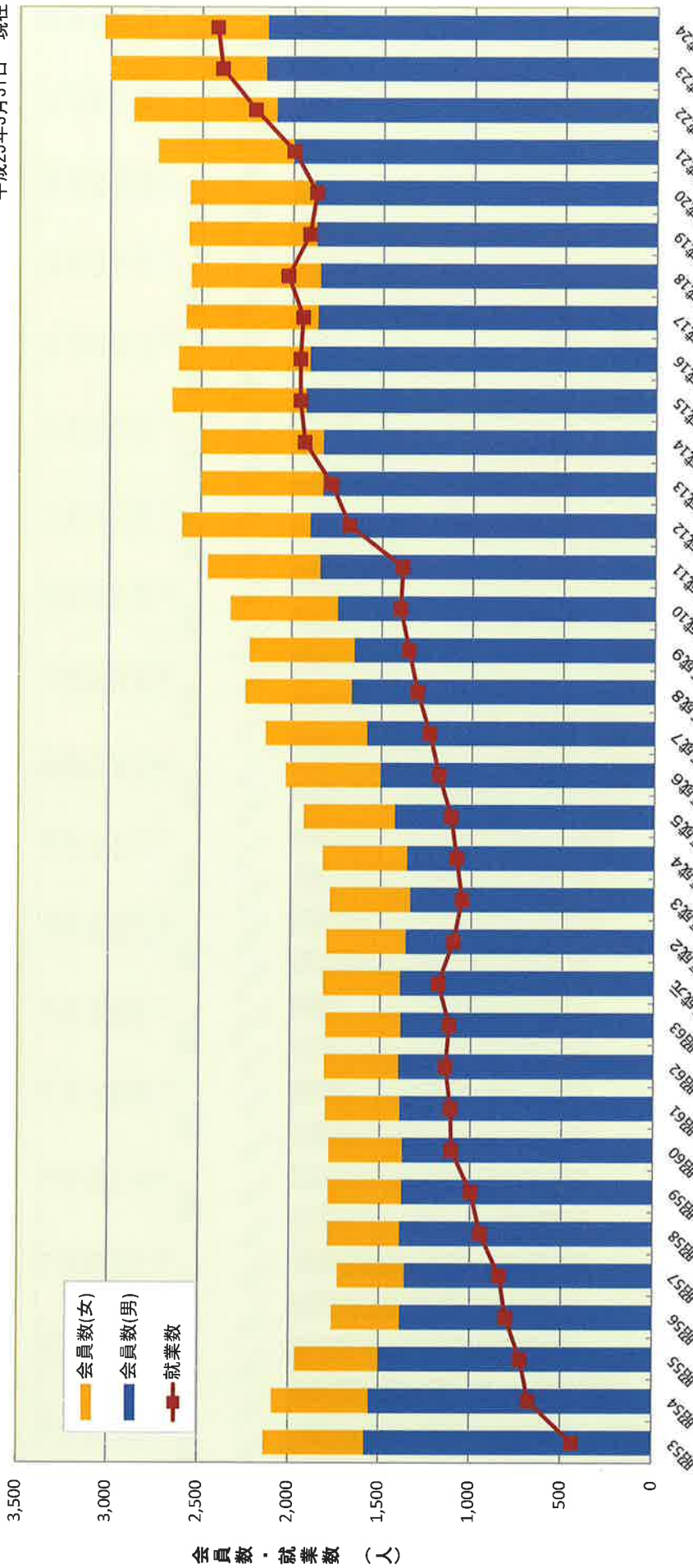
年度	昭53	昭54	昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	平成元	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7
受託件数	1,329	2,593	3,886	4,801	5,888	6,662	7,572	8,378	9,284	8,451	7,454	7,251	7,482	8,184
延就業日数	17,571	44,225	54,822	71,943	89,796	101,056	113,278	125,487	153,804	146,297	145,205	141,844	139,971	147,803
配分金(千円)	51,114	146,125	212,175	269,738	321,189	364,495	426,639	491,278	626,072	630,283	701,216	720,998	723,142	762,064

年度	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24
受託件数	8,328	8,692	8,605	9,157	10,099	10,652	11,404	11,812	12,851	14,324	15,912	16,192	18,575	20,035	20,958	20,958	20,958
延就業日数	157,674	165,454	170,088	180,178	214,431	222,018	237,149	220,159	217,906	226,944	233,248	227,008	241,438	251,898	252,427	251,898	252,427
配分金(千円)	799,666	816,868	841,259	882,736	947,604	979,251	1,032,011	991,234	968,725	948,277	963,024	967,270	953,467	961,216	995,258	1,022,936	1,012,919

(単位：件、日人員、千円)

年度別会員数・就業状況

平成25年3月31日 現在

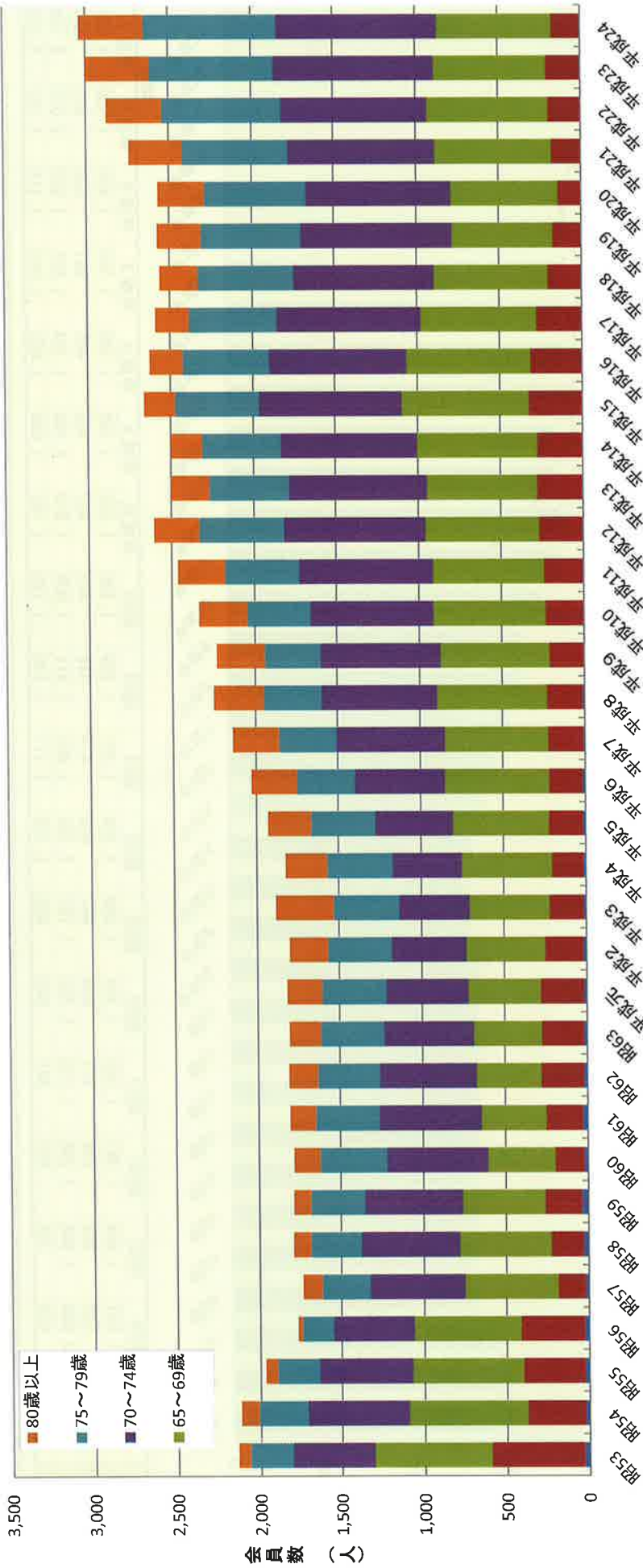


年度	昭53	昭54	昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平成元	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7
会員数(男)	1,581	1,557	1,504	1,387	1,362	1,389	1,380	1,376	1,391	1,399	1,390	1,392	1,362	1,339	1,356	1,426	1,506	1,581
会員数(女)	555	533	462	379	371	400	407	408	414	412	415	427	438	445	467	502	522	557
合計	2,136	2,090	1,966	1,766	1,733	1,789	1,787	1,784	1,805	1,811	1,805	1,819	1,800	1,784	1,823	1,928	2,028	2,138
就業数	440	679	725	807	841	946	998	1,106	1,111	1,140	1,120	1,182	1,099	1,052	1,082	1,115	1,182	1,235

年度	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24
会員数(男)	1,668	1,748	1,845	1,845	1,901	1,832	1,831	1,925	1,905	1,863	1,849	1,870	1,883	2,001	2,092	2,150	2,141
会員数(女)	583	576	587	615	702	668	670	733	718	723	709	701	683	737	782	850	895
合計	2,251	2,320	2,335	2,460	2,603	2,500	2,501	2,658	2,623	2,586	2,558	2,571	2,566	2,738	2,874	3,000	3,036
就業数	1,303	1,351	1,399	1,388	1,685	1,785	1,932	1,957	1,959	1,944	2,026	1,908	1,871	1,996	2,208	2,388	2,415

年度別・年齢別会員構成

平成25年3月31日 現在

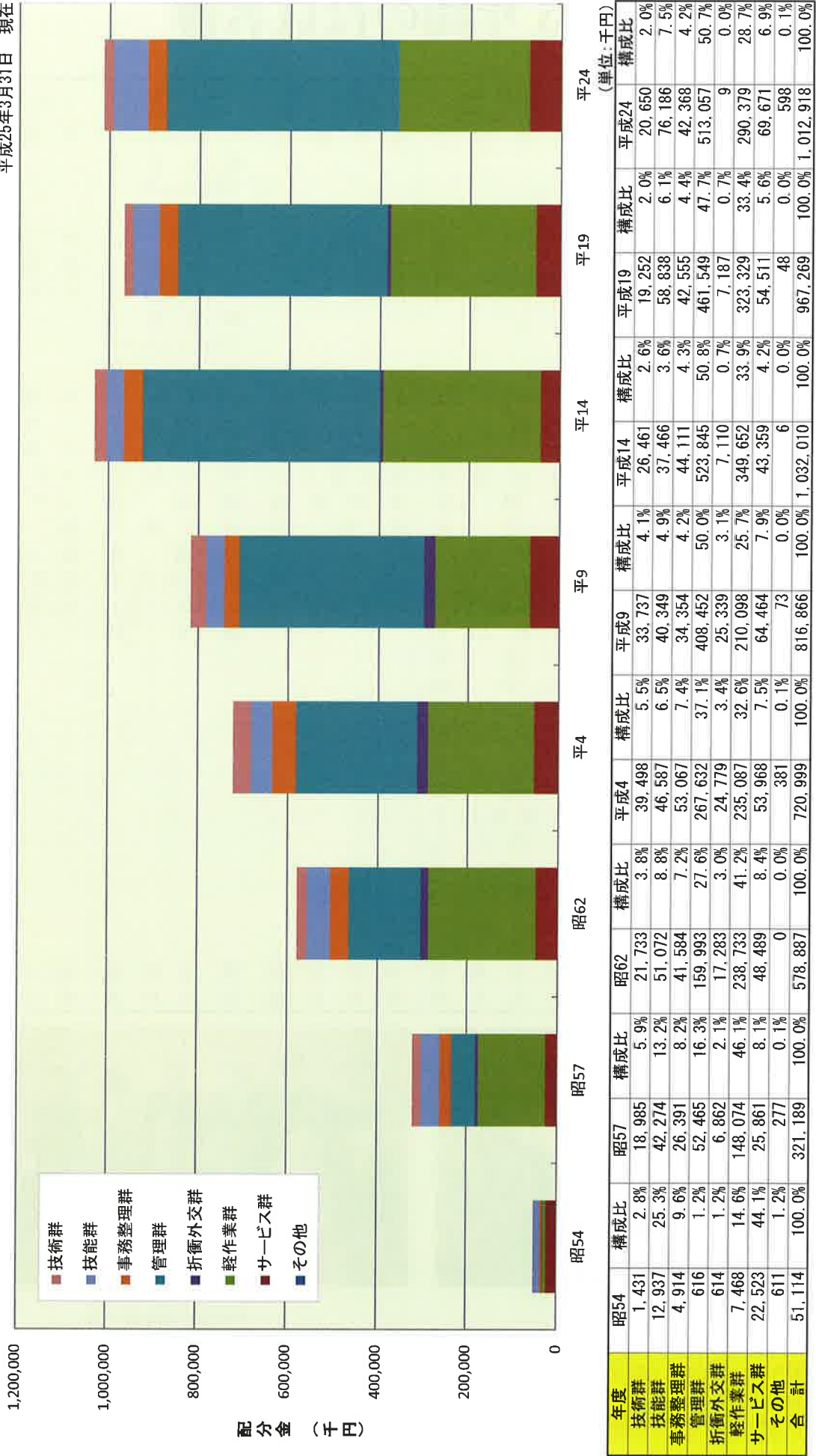


年齢	昭53	昭54	昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平成元	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7
60歳未満	32	22	24	26	17	31	38	20	28	19	17	14	17	10	13	14	14	8
60~64歳	560	353	373	385	169	194	224	178	222	260	258	266	234	212	193	208	205	216
65~69歳	712	720	674	651	564	555	499	408	393	392	412	438	478	486	548	582	633	626
70~74歳	496	612	564	486	575	596	593	612	618	585	542	498	452	425	417	472	540	654
75~79歳	266	305	260	192	294	309	329	406	389	378	388	390	386	398	398	390	359	354
80歳以上	70	106	71	26	114	104	104	160	155	177	188	213	233	353	254	262	277	280

年齢	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24
60歳未満	9	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60~64歳	220	207	233	241	267	276	274	325	315	276	204	175	141	179	199	210	175
65~69歳	666	660	678	671	690	668	730	770	750	701	690	609	648	707	733	679	693
70~74歳	700	727	744	813	858	837	827	867	834	875	853	915	879	891	887	974	975
75~79歳	357	344	391	453	518	487	480	511	526	533	583	610	619	643	721	752	805
80歳以上	299	288	288	282	270	231	190	185	198	201	228	262	279	318	334	385	388

年度別・職群別配分金構成

平成25年3月31日 現在



近5年間の役員名簿

役職名	～平成21.3.31	平成21.4.1 ～平成22.5.28	平成22.5.28 ～平成23.3.31	平成23.4.1～ 平成25.6.12	平成25.6.12～
名誉会長	熊本哲之	熊本哲之	熊本哲之	(～平成23.4.26) 熊本哲之 (平成23.4.26～) 保坂展人	保坂展人
会長	竹内弘	竹内弘	竹内弘	竹内弘	竹内弘
副会長	田村進	田村進	衣笠俊一	衣笠俊一	衣笠俊一
常務理事	青木俊雄	梅村恒司	梅村恒司	(～平成23.5.30) 梅村恒司 (平成23.5.30～) 溝口猛	志村千昭
理事	石河利雄 市谷準之介 伊藤正子 今井豊 今津毅 植田茂男 大野篤 金田和 小岩清子 五月女雄二郎 清水富久夫 菅野和昌 田中茂 土松由仁子 中嶋洋子 榎本泰子 西前澤一 前橋富 弥谷萩 山賢	石河利雄 伊藤正子 今井豊 植田茂男 大野篤 金田和 衣笠俊一 木村万紀子 清水富久夫 菅野和昌 高田中 榎本泰子 西村光代夫 前橋允子 松南美代子 矢澤富 萩耕	伊藤正子 今井豊 木村万紀子 清水富久夫 菅野和昌 高品斉 前田俊夫 前橋允 松南美代子	伊藤正子 木村万紀子 清水富久夫 菅野和昌 高品斉 前田俊夫 前橋允 松南美代子 (平成24.6.15～) 橋本誠	伊藤正子 上村昭廣 大崎英男 木村万紀子 中村みどり 橋本誠 前田俊夫 松南美代子 水野照久
監事	奥谷英雄 澤田昌博	奥谷英雄 澤田昌博	奥谷英雄 澤田昌博	奥谷英雄 澤田昌博	明石善和 奥谷英雄



平成23年度役員一同

後列：高品 斉・伊藤正子・奥谷英雄・木村万紀子
菅野和昌・前橋 允・清水富久夫・前田俊夫
松南美代子
前列：青山善樹・竹内 弘・衣笠俊一・溝口 猛



平成25年度役員一同

後列：上村昭廣・大崎英男・水野照久・橋本 誠・伊藤正子
木村万紀子・中村みどり
前列：前田俊夫・松南美代子・衣笠俊一・竹内 弘・志村千昭
奥谷英雄・明石善和

近5年 事務局職員名簿

事務局長	青山 善樹	S53.6～			
参 事	志村 千昭	H25.4～			
事務局次長(管理係長兼務)	佐俣 稔	S62.4～			
管理係	主 査	須藤 高行	S53.6～	主 事	本田 晶子 H22.4～
	主 事	山野 剛史	H22.4～	嘱託職員	岡本 よし子 H22.4～
	臨時職員	谷城 なが子	H24.6～	臨時職員	齋藤 礼子 H25.9～
	臨時職員	三橋 千夏	H21.4～	臨時職員	粟生田 早苗 H24.6～
事業係	係 長	堂谷 未有	H5.4～	主 事	齋藤 隆史 H18.5～
	主 任	小沢 忠之	H2.4～	主 事	立石 雅彦 H22.4～
	主 事	飯島 幸裕	H7.4～	嘱託職員	小林 美穂 H18.4～
	嘱託職員	五十嵐 裕子	H22.4～	臨時職員	米山 明美 H21.4～
	臨時職員	関 裕美	H19.4～		
烏山支部	室 長	加藤 聡	H2.4～	主 査	市川 孝史 S60.4～
	臨時職員	大田 紀子	H19.4～	臨時職員	松原 裕美 H21.4～
	臨時職員	湯野川 恭子	H19.4～	臨時職員	安達 裕美 H26.1～
駐輪場管理センター	臨時職員	岩尾 正信	H25.4～		



本部・管理係

後列：山野剛史、佐俣 稔、須藤高行、本田晶子
 前列：青山善樹、志村千昭
 円内：岡本よし子



事業係

後列：飯島幸裕、立石雅彦、齋藤隆史
 前列：小林美穂、堂谷未有、小沢忠之
 円内：五十嵐裕子

烏山支部

市川孝史、加藤 聡

公益社団法人
世田谷区シルバー人材センター所在地



▲本部: 世田谷区宮坂 1-24-6 宮坂区民センター
東急世田谷線宮坂駅徒歩0分



▲烏山支部: 世田谷区粕谷 1-7-34
バス: 芦花恒春園下車 徒歩7分



▲用賀ワークプラザ: 世田谷区玉川台 1-12-1
東急田園都市線 用賀駅(南口) 徒歩5分

創立 35 周年記念号編集制作実行委員会

委員長: 常務理事 志村 千昭

副委員長: 広報・広聴部会長 木村 万紀子・ 副部会長 上村 昭廣

編集委員: 落合 泰造、武田 晴子、横山 幸江、脇本 直彦

写真・資料提供:

上村昭廣、落合泰三、衣笠俊一、木村万紀子、佐伯 紘、清水富久夫、
鈴木尊康、竹内 弘、武田晴子、田村 進、永田信行、松南美代子、
弥富 菁、脇本直彦

表紙写真: 落合泰造

シルバー せたがや

- ◆常日頃 気力体力 自己チェック
- ◆先ずゆずる あなたのマナーが 身を守る
- ◆譲り合う 心がいつも 事故を防ぐ

平成 25 年度「安全標語」入選作品

2014.3 137号

誰かとおしゃべりしたくなったら あったかサロンへどうぞ!

当センターの会員が運営する高齢者対象のサロンが誕生。5月8日より開始します!

- ◆みんなでわいわい楽しく過ごしたい!
 - ◆趣味の仲間を作りたい! ◆小物作りをしてみたい!
 - ◆好きな本やドラマの話で盛り上がりたいたい! などなど
- 60歳以上の方なら誰でも歓迎、自由に参加できます。

- ▼場所：用賀ワークプラザ2階
- ▼開催日：週に2日(火曜日・木曜日)
- ▼時間：午前10時～午後3時まで
- ▼参加費：100円

★サロン運営ボランティアも大募集。
一緒に楽しくひと時を過ごしませんか。

あったかサロン 5月 スタート!



この写真は他グループの活動風景。
楽しい会話から新しいアイテムが生まれます。

おもしろかった! 東京マラソンの ボランティア体験



▲選出組グループ参加者



▲右端がランナーコース、コース脇にランナー撮影に設置されたカメラ。左側でイベント開催中

平成 26 年度

定時総会開催予定のお知らせ

■ 6月11日(水) ■世田谷区民会館ホールで開催。

平成 25 年度の事業報告・決算、平成 26 年度の事業計画および予算を審議・報告します。就業仲間や地域会員のみなさんをお誘いのうえ、ぜひご出席ください。

★開催通知は、5月末にご自宅へ送付します。
総会当日は、開催通知の封筒をご持参ください。

2月23日、東京マラソンのボランティアに当センターから27名が参加しました。例年は、環境ボランティア有明イーストプロムナード会場で、リサイクル容器回収の指導や、不慣れな来場者へ会場案内を担当していました。今年は、防災公園有明口・有明小中学校前、有明芸術短期大学前の3箇所に分かれて、ランナー応援イベント会場で、観客の整理・誘導をするという役割でした。

受け持ち時間は11:10～14:00。2グループに分かれて早出組は10:30集合、選出組は12:00集合で、それぞれ約1時間半のボランティア活動でした。

1箇所4名ぐらいつつ観客の通路に立って、誘導役をしました。ランナーの走る傍で活動するのは初めてで、着ぐるみや奇抜なスタイルで走る姿も目にとまり楽しめました。主催者側が設定しているカメラの前では、慣れたランナー達が立ち止ってポーズを取るさまも微笑ましい光景でした。来年はあなたもボランティアに参加しませんか。

平成25年度の活動状況をかえりみる

平成25年度の年度末を迎え、各委員会・部会は、活動の年間目標をどれくらい達成できたか、それぞれの結果をご報告します。これらから、当センターの目指している方向等が見えてくることでしょう。

平成25年は、当センターの創立35周年という節目

の年にあたり、記念の一大イベント「シルバーまつり」を開催しました。外部の関係各所の多大なるご尽力もさることながら、多くの会員の皆様のご協力があった成功裏に終えることができました。

来期も少しでも前進できるよう頑張っていきます。

運営委員会

目 標

- ①運営指針の着実な実践
- ②平成25年度事業計画に基づく各目標値の達成
- ③「シルバーまつり」の成功

- ①あらゆる研修・会合・連絡会で指針のPRを実施し、理解度は上がってきた。
- ②後半期の未就業率の減少が未達成ぎみなので、年度末の2、3月に努力が必要。
- ③実行委員会を中心に各部会、役職員、会員協力員の努力、区役所、協力団体、他地域のSCや東京中農協、成城・駒澤大学、鷗友学園等の区民の皆様の御協力で大成功であった。



▲運営委員会

▼ホームページ



広報・広聴部会

目 標

- ①就業開拓に結び付く広報活動の充実
- ②「シルバーまつり」の的確な情報発信
- ③「シルバーせたがや」、ホームページによる情報発信の強化

- ①広報紙で様々な就業現場等を取材し、就業者の実態や心境を伝え、読者の就業意欲奮起を促した。
- ②「シルバーまつり」開催決定時の1昨年末から、開催直前の9月配布号まで、広報紙で「まつり」の準備、催し物のガイド、出演者募集等の情報を流した。他に、ポスター作成、「まつり」の概要を知らせるチラシを広報紙と共に配布等を行った。
- ③3カ月ごとに配布する広報紙ではカバーできない、新鮮な情報を流せる特質を生かし、定時総会の記事や写真、イベント、就業職種ガイドや教室関係の募集ガイド等を発信して効果を上げている。

安全委員会



目 標

- ①各種会合・研修会等で安全就業情報の提供
- ②4M分析の徹底と法令違反に基づく事故者の対応検討
- ③安全パトロールの充実強化

- ①今期はあまり情報提供ができなかったもので、来期は全委員が各研修会等で情報提供を行っていく予定。
- ②事故会員の死亡連絡が事務局へ伝わらなかった例や、家族の了解が得られない等で、4M分析が行えないケースもあった。
- ③夜間の施設管理等のような、一人就業現場に絞って聞き取り調査を実施。該当する会員に、安全グッズや携帯ブザーを配布した。

地域組織・会員部会

目 標

- ①共助社会進展に伴うシルバー地域組織の役割強化策
- ②会員相互の連絡強化策の検討実施
- ③地域活動連絡会議の充実強化

- ①多くの組の組長・班長が、地域のイベントや活動する団体と協力してボランティア活動に率先して参加する状況が生まれてきている。
- ②、③では、新体制の組の統合により組の会員数が大きくなったので、地域内の横の繋がり強化を目指し、会員研修時等に、同地域の会員同士がコミュニケーションができるように努めている。

就業適正化部会

目標

- ①未就業会員の調査と就業促進
- ②適正就業のための現場調査
- ③就業改善計画の実施促進



①調査のアンケート内容をわかりやすく改善した。問い合わせがあった30名に「相談窓口」案内のハガキを出したら、相談にこられた方がいて、手ごたえがあった。
③のためには、②の調査の必要性が高いが、今期は部会のメンバー入れ替え等で、実施に至らなかった。来期に力を入れたい。

家事援助・女性活動部会

目標

- ①地域高齢者向けサロン活動のための事前調査
- ②「シルバーまんま」の他地域での実施検討
- ③女性会員の増加策と新活動エリアの検討実施

①区内で活動中の社協の常設サロン、地域団体のボランティア式定期サロン、商店街の「お休み処」等を調査。その結果、5月から週2回、用賀ワークプラザ2階で高齢者向け「あったかサロン」開催を決定。運営ボランティアを会員から募ることになった。
②地域内に、調理関心を持つ会員で協力を得られそうな玉川地域を中心に、公共施設等を調査中。
③女性会員の増加傾向と職種の開拓を配慮し、他SCを見学。就業に結びつきそうな「手芸の会」の発足に至った。



未就業会員 意向調査

健康を保ち、積極的に 就業を求めよう

橋本 誠

昨年10月末就業者338名にアンケートを発送し、回収できた176名(回答率45%)の回答の分析調査結果をご報告します。

入会后1~3年間に就業しなかった場合、未就業が長期化しやすい傾向が見られ、積極的に就業を求めている会員さんが多いようです。

入会后の早い時期に提示された仕事は、第一希望職種でなくても積極的に就業し、その体験から、継続または次の仕事につなげてほしいものです。

未就業の理由は、本人の体調不良(27%)、家族の介護(8%)、他に仕事をしていた(13%)等、会員側の都合によるものが大部分です。

体調不良の時期が長くなると未就業が長期化します。自己の健康管理が大切ですし、体調が回復したら、すぐ事務局へ連絡し就業の意思があることを伝えておきましょう。そうしないと、体調不良状態が続いているとみなされ、就業のチャンスを逃してしまいます。

体調不良が長期化しそうなら、一時退会して健康を取り戻し、再入会するという方法もあります。希望職種の幅を広げ、相談窓口等を訪ねて、就業の意思を積極的にアピールすることが重要です。



25年度 理事による 発注者訪問

例年どおり全理事による発注者訪問を、公共・公社関係は9月、民間は10月から開始し、前者は37件、後者は22件を訪問しました。

発注者のご意見・ご要望、就業者への評価等をお聞きし、発注業務の継続・拡大をお願いすると共に、新たな業務の受注開拓も目的として行われます。

就業者に対しては、「良くやっていただいている」という高い評価が8割でした。特に駐輪場業務においては、利用者からの苦情が以前より激減しているとのこと。これは、会員の皆様の日頃の精進のたまものであり、様々な会員研修や接遇(マナー)研修等の成果の表れでしょう。

件数は少ないものの、接客マナー向上や就業時間の徹底などを求めるご要望もありました。サービス意識の徹底、仕事に向き合う姿勢を問われていると言えます。新たな業務の確保が厳しい経済・就業環境の中では、真摯に耳を傾け、就業の質を上げていくことが、当センター発展の大きな推進力になるのではないのでしょうか。



安全委員会からのお知らせ

26年度は、自転車事故防止を重点目標に！

平成25年4月～10月の間に、24年度の2倍近い10件の事故が起きました。就業途上、就業帰宅時の自転車事故が倍増していて、保険対象外（契約以外の作業で発生）事故も起きています。

26年度は、年間を通して自転車事故防止を重点目標としていく予定です。そのため道路交通法に基づく「自転車安全利用5則（右）」に違反し、事故を起こした会員には、例えば、就業停止等のペナルティーも検討せざるを得ません。

これまでのシルバー傷害保険対象事故に関しては、安全委員が当事者に面談し、4M分析（注）を行っております。この原因分析結果を、就業中の事故（特に自転車事故）防止に役立つように、「安全委員会だより」として配布することも考えております。

事故が起きやすい職種「植木班」に25年度は一件の事故もありません。心構え1つで事故防止は可能です。

自転車安全利用5則（警視庁）

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る
 - ① 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - ② 夜間はライトを点灯
 - ③ 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
5. 子供はヘルメット着用
追加) 雨の中の傘さし運転



注：4M分析とは

- ・人的要因 (Man)
- ・設備的要因 (Machine)
- ・作業環境的要因 (Media)
- ・管理的要因 (Management)

安全標語入選作品

優秀
安全は 自ら守り 築くもの 浅間 賢司

佳作
ちよつと待て その無理 あとで大後悔
鳥居 美智子

優秀
安全は 自分自身が 責任者 平塚郁太郎

佳作
急ぐな 焦るな 慌てるな
ゆとりの行動が身を守る 野村 榮

優秀
夜間には 心の灯 足元へ 秋山 功

佳作
無灯火で 絶対走るな 夜の道 原島 静子

テーマ1 夜間就業の事故防止について (応募数18点)

テーマ2 自己管理について (応募数29点)

テーマ3 その他安全に関する事 (応募数42点)

就業開拓調査報告

地道な継続活動で、可能性は広がる！

昨年9～11月にかけて2か月間、3人の就業開拓専門員が、それぞれ保育園・幼稚園・学校関係、神社・寺院、都営住宅、一般企業等を訪問、その総数は約250件に達しました。

公立の保育園・学校関係等では、登下校時の見守りや、除草、樹木剪定等の要望はあるが予算がないという声が多く、私立では来年度発注を考えたいとい

うような有望なケースも幾つかありました。

都営住宅や、諸団体等は、決定権を持っている人にお会いするのが難しく、継続的に訪問を重ねていくのが良いと思われます。当センターを利用したことがある訪問先は、他の職種へも広げていただける可能性が高く、当センターのPR活動を広げていくのが肝要だと感じました。

今回の訪問は、PR活動の一環としても、効果があつたように思います。

★ 会費納入のお願い ★

平成 24 年度及び 25 年度の会費（年 1,000 円）
が未納の方は早急に宮坂本部または烏山支部
お納めください。

就業についてのご相談

- ◆ 理事による「さわやか相談窓口」は
毎月第 2 月曜日に行われます。
----- 4 月～6 月 -----
・ 4/14(月)・5/12(月)・6/9(月)
相談時間：午前 10～12 時 午後 1～3 時
場 所：宮坂本部
- ◆ 事務局窓口では、窓口開設中はいつでも
相談できます。

事務局
だより



配分金振込日予定

3 月分…4 月 14 日(月) 4 月分…5 月 16 日(金)
5 月分…6 月 13 日(金) 6 月分…7 月 14 日(月)

配分金振込みは支払日に指定口座へ入金
されますが、給与振込みと違い、全ての
口座へ午前中に入金されるわけではあり
ません。ご了承願います。

事業実施状況
(平成 25 年 4 月～1 月)

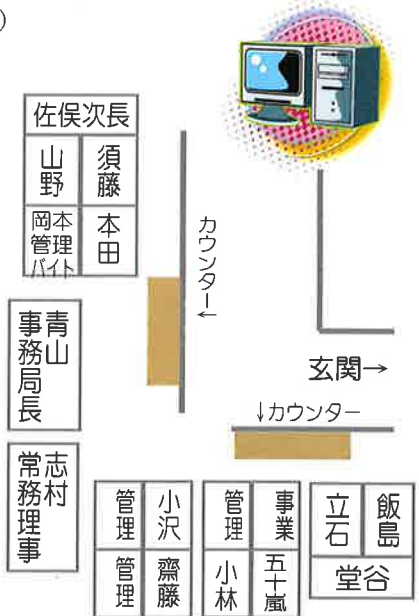
会員数の微増傾向は続いており、契約金額も増えて
いるので、会員への一定の配分金が確保できています。
「会員一人 1 件受注運動」をよろしくお願います。

契 約 金：10 億 4,800 万円 (約 0.7% 増)
契 約 件 数：19,122 件 (約 5.3% 増)
就 業 率：75.5% (約 0.2% 増)

	平成 24 年度	平成 25 年度
■ 受注件数 (件)	18,157	19,122
■ 契約金額 (万円)	104,041	104,800

平成 25 年度 業務分担(本部事業係) ----- どうぞよろしく ----- 事務局配置図

- 堂谷……係内調整、応援・民間継続(軽作業 20 件程度)・安全就業推進員(シルバー保険関係)
小沢……植木剪定・ポスター掲示作業・広報スタンド・筆耕・民間、公共内職
飯島……施設管理(区、公社・公団)・施設清掃(区、公社・公団)・独自事業・家庭教師・
その他単発
齋藤……マンション清掃・民間継続(自転車駐輪場・自転車整理)・その他単発
立石……指定管理(自転車)・整理誘導(アイビーメンテナンス含む)・家具転倒防止・
大工、襖、障子・塗装
小林……家事援助サービス・美術館管理(損保ジャパン、五島)・チラシ配り・はり、灸
五十嵐…除草作業(駒沢公園含む)・公園清掃(門扉開閉含む)・落ち葉掃き作業・水遣り
- 大型単 ・ シルバーパス発行業務 齋藤(メイン)・立石(サブ)
・ 選挙ポスター巡回作 小沢



★お詫びと訂正

新年号 5 ページの最下段、写真説明にミスがありました。
関係者の皆様に訂正してお詫びいたします。
合 唱：駒澤大学のコーラス
ダンス：鷗友学園女子中学高等学校の創作ダンス



会員募集

世田谷区シルバー人材センターの楽しい広場 みんな集まれー!

◆ シルバーボーリング同好会

- ・ 場所 オークラボウル
- ・ 毎月第 3 金曜日 午後 4:30 ～活動
- ★連絡先 鈴木尊康 ☎090-2175-4615

◆ 囲碁同好会

- 囲碁の好きな方、実力無関係です
- ・ 場所 宮坂区民センター 2 階 和室
- ・ 毎月 第 2 火曜日と第 4 土曜日
午後 1 時～5 時
- ★連絡先 田村 進 ☎090-7856-3519

◆ 植物研究同好会

- 草花・低木の手入れ管理、実習など
- ★連絡先 前澤一福 ☎090-7417-7420

新しい笑顔に出会いませうか

◆ ゴルフ同好会「けやき会」

- ・ 年 4 回「富士笠間ゴルフ倶楽部」コンペを開催
- ★連絡先 田村 進 ☎090-7856-3519

◆ カラオケ同好会

- ★連絡先 ・ (烏山) 林 ☎3300-1776
- ・ (松陰神社) 山下 ☎3303-8971
- ・ (船橋) 佐藤 ☎3483-0203

◆ ボランティアグループ「青年隊」

- 「多摩川河川敷清掃」「東京マラソン」などに参加
- ★連絡先 清水富久夫 ☎3429-9439

◆ 社交ダンス同好会

- いきいきせたがや文化祭出演が目標
- ・ 場所：宮坂区民センター 3 階中会議室
- ・ 毎週月曜日 午後 6 時～8 時 30 分
- ★連絡先 西村光代 ☎3420-1007

